

株主の皆さまとのコミュニケーション誌

AGC Review

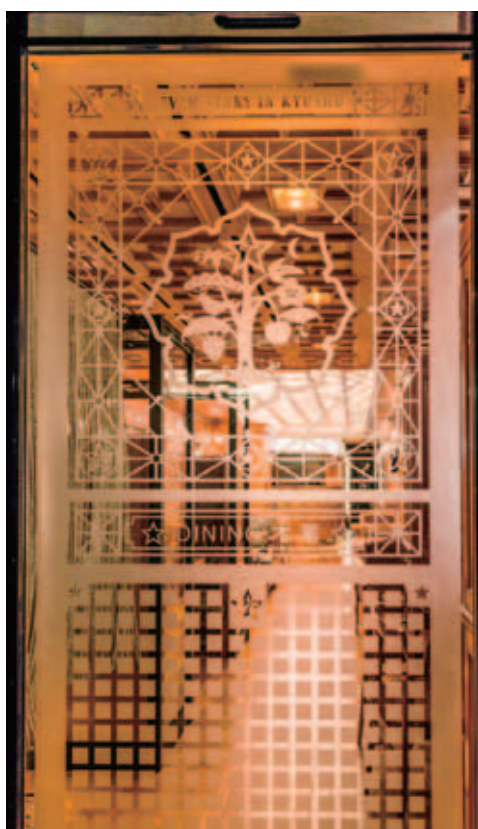


AGC 旭硝子

[株主通信] Vol.24

2014年3月発行

証券コード：5201



株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

2013年の業績は、円安等の影響で前年度に比べて増収となったものの、欧州建築用ガラスや電子関連製品の価格下落等の影響で減益となりました。

このような状況から、誠に遺憾ながら期末配当金については、2013年の中間配当金より8円減額となる1株当たり5円と決定いたしました。なお、年間での配当金は1株当たり18円となります。

役員・従業員一同、何としても業績を反転させ成長軌道に戻すべく、真に強いAGCグループの実現に全力で取り組む所存です。その取り組みの一部を特集ページでご紹介していますので、ぜひご一読ください。

今後ともAGCグループになお一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役兼社長執行役員CEO

石村和彦



株主様向け工場見学会を実施

2013年11月29日、鹿島工場にて株主様向け工場見学会を実施いたしました。個人株主様を対象とした工場見学会は初めての試みでしたが、多くのご応募をいただき、厳正な抽選の結果、最終的に28名の株主様にご参加いただきました。当日は板ガラスを生産するフロート窯、省エネガラス製造設備、製品展示スペースをご見学いただき、当社についての理解を深めていただきました。また、見学後の質疑応答では、多くのご質問や貴重なご意見をいただき、大変有意義なコミュニケーションの機会となりました。

今後も継続的に工場見学会の実施を予定しております。

<参加された株主様の声(抜粋)>

- ガラス製造設備の規模感に圧倒されました。製造現場を見ることで理解が深まりました。
- これほどの大規模なラインとは想像していませんでした。ガラスを見る目が少し変わった気がする。
- 従業員の方のキビキビした真摯な態度、応対に好感が持てた。
- 高品質なガラスが作られる工程を見て安心しました。



その他のトピックス

2013年

8月 欧州カラーガラスシェアNo.1ブランド「ラコベル®」を日本へ本格導入

10月 米国皮膚がん財団の認証を自動車の窓ガラスで取得

11月 塩ビ事業会社を買収してベトナム市場に初進出を決定
トムソン・ロイター「Top 100 グローバル・イノベーター 2013」に選出



ラコベル®が使われているハンガリーのショッピングセンター



1 中期経営計画“Grow Beyond-2015”の進捗について

2013年にスタートした中期経営計画“Grow Beyond-2015”では、真に強いAGCグループの実現を目指し、「成長基盤の強化・定着」「業績を上昇トレンドに反転」の2つを課題として、様々な施策を進めています。

初年度である2013年は、業績反転に向けた施策展開を積極的に進めたものの、円安によるディスプレイ事業の収益性低下と欧州建築用ガラス事業の回復遅れなどにより、減益でのスタートとなりました。

これらの事業環境を踏まえ、中期経営計画で定めた内容の一部を見直します。

- ✓ 2014年から2015年までの設備投資は当初計画から約200億円削減し2,800億円に、研究開発費は当初計画から100億円削減し900億円に見直す。
- ✓ ROEについて、2015年の目標としていた12%以上の達成時期を2020年とし、短期的な目標を5%以上に見直す。

また、真に強いAGCグループの実現に向けて、2014年以降は以下の課題に取り組みます。

【業績を上昇トレンドに反転させる】

業績を上昇トレンドに反転させるために、ガラス事業の収益改善、ディスプレイ事業の収益性低下への対応、全社的な体質強化の3つを重点課題として取り組んでいきます。

【成長基盤を強化・定着させる】

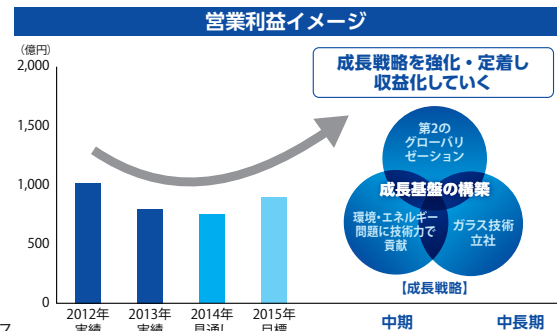
成長基盤を強化・定着させるため、引き続き「ガラス技術立社」「第2のグローバルゼーション」「環境・エネルギー問題に技術力で貢献」という3つの戦略を、「快適な生活・空間領域」「クリアな映像・通信領域」「クリーン＆グリーンなエネルギー領域」という3つのドメインで展開し、さらにスピードアップして取り組んでいきます。

これらの課題への取り組みを確実・迅速に推進することで、この中期経営計画期間中に業績を反転させ、再び成長軌道へと戻す所存です。

※右記は国際会計基準(IFRS)ベース



中期経営計画期間中に業績を反転、成長軌道へ



2 国際会計基準(IFRS)の適用について

AGCグループは、国際的な比較可能性の向上とグループ経営の効率化を目的に、2013年度決算から国際会計基準(IFRS)を任意適用いたしました。

IFRSへの変更のポイント

■ 営業利益

- ✓ のれんの償却停止
- ✓ 退職給付費用に関する変更
- ✓ 持分法損益の表示組み換え
- ✓ その他

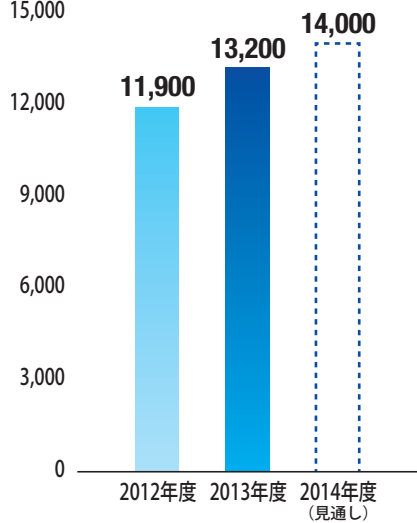
日本基準	707 億円
のれんの償却停止	+20 億円
退職給付関係	+57 億円
持分法による投資利益	+10 億円
その他	+5 億円
IFRS	799 億円

※2013年度の日本基準の数値は監査を受けておりません。

業績ハイライト

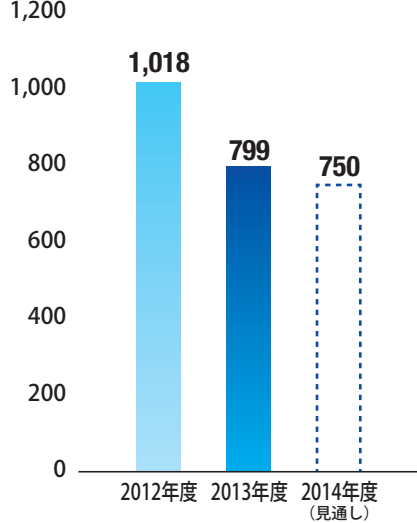
売上高

単位：億円



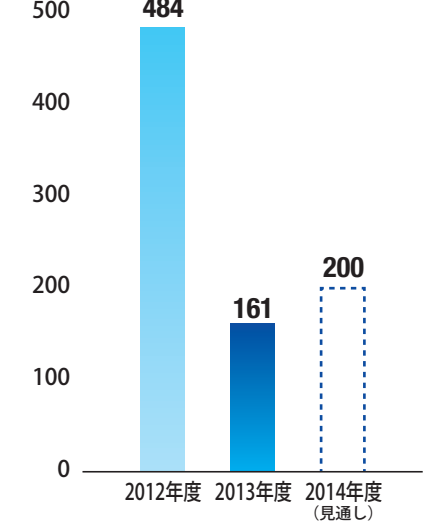
営業利益

単位：億円



親会社の所有者に帰属する当期純利益

単位：億円



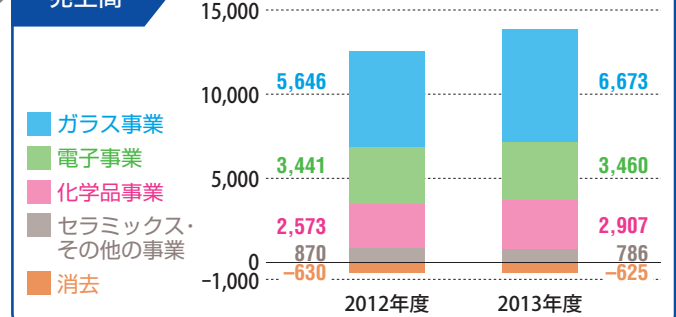
連結純損益計算書(要旨)

単位：億円

	2013年度 (2013年1月1日～ 2013年12月31日)	2012年度 (2012年1月1日～ 2012年12月31日)	増減額	増減率
売上高	13,200	11,900	1,301	10.9%
営業利益	799	1,018	△219	△21.5%
その他収支	△341	△227		
事業利益	458	790	△332	△42.0%
金融収支	△15	△40		
税引前利益	444	750	△306	△40.8%
法人税等	254	225		
当期純利益	190	525	△335	△63.8%
親会社の所有者に 帰属する当期純利益	161	484	△323	△66.7%
非支配持分に帰属 する当期純利益	29	41		

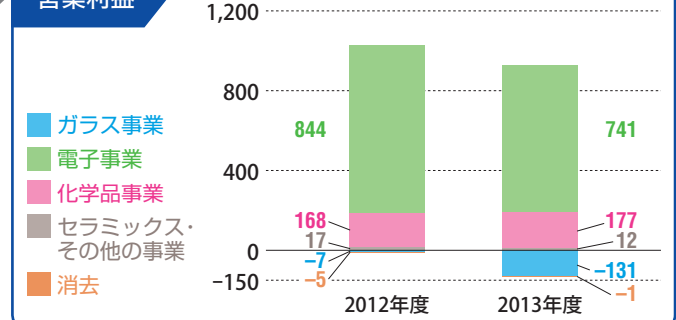
売上高

(億円)



営業利益

(億円)



連結財政状態計算書(要旨)

単位：億円

	2013年度 (2013年12月31日)	2012年度 (2012年12月31日)	増減額
流動資産	6,822	6,389	433
非流動資産	14,385	12,775	1,609
資産合計	21,206	19,164	2,042
負債	9,755	9,556	198
資本合計	11,451	9,607	1,844
負債及び資本合計	21,206	19,164	2,042

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

単位：億円

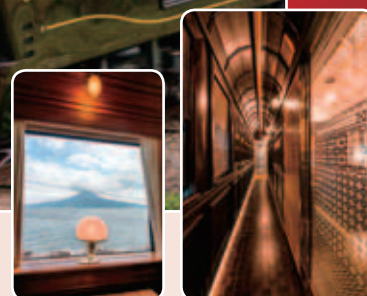
	2013年度 (2013年1月1日～ 2013年12月31日)	2012年度 (2012年1月1日～ 2012年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,674	1,702
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,460	△1,586
フリー・キャッシュ・フロー	214	115
財務活動によるキャッシュ・フロー	△336	△41
現金等に係る換算差額	110	88
現金等の増加額	△12	163

※ AGCグループは2013年度より国際会計基準(IFRS)を適用しています。2012年度の諸数値についても、IFRSに準拠して作成しています。

AGCのABC

「ななつ星in九州」に AGC製品が採用されています

九州旅客鉄道株式会社が2013年10月に運行を開始したクルーズトレイン「ななつ星in九州」。総工費約30億円をかけて製作された豪華寝台列車には、側面窓には鉄道用側窓として初めてのLow-Eペアガラス、内装にはすべてデザインの異なる特注エッチングガラスなど、多くのAGC製品が採用されています。AGCグループの製品と技術が、「ななつ星in九州」の豪華さや快適性に貢献しています。



※当社ホームページに、「ななつ星in九州」のデザイナーであるドーンデザイン研究所代表 水戸岡鋭治氏のインタビューなどを掲載していますので、ぜひご覧ください。

URL <http://www.agc.com/feature/sevenstars/>

会社概要 (2013年12月31日現在)

商号 旭硝子株式会社
 英文社名 Asahi Glass Company, Limited
 創業 1907年9月8日
 設立 1950年6月1日
 資本金 90,873,373,264円
 本社所在地 〒100-8405 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号 (新丸の内ビルディング)
 電話 (03) 3218-5096
 連結対象子会社数 200社(うち海外164社)

株式関連情報

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで
 定時株主総会開催月 3月
 基準日 定時株主総会 12月31日
 期末配当 12月31日
 中間配当 6月30日

公告方法 電子公告

[公告掲載アドレス] <http://www.agc.com>

株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
 [電話お問合せ・郵便物送付先] 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話(0120) 232-711 (通話料無料)

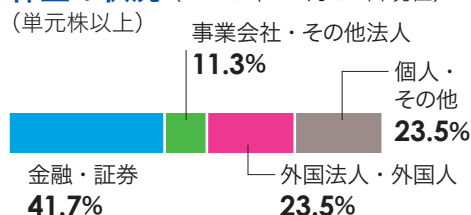
株式に関するお問合せ先

証券会社等に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
口座を開設されている証券会社等	三菱UFJ信託銀行株式会社(特別口座管理機関) 電話(0120)232-711(通話料無料) ※特別口座に記録された株主様の住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式の買取、口座振替に必要な各用紙のご請求は、特別口座管理機関のフリーダイヤル(0120)244-479(24時間・自動音声対応)をご利用ください。

株式の状況 (2013年12月31日現在)

発行済株式総数 1,186,705,905株
 株主数 77,833名
 (単元株以上株主 66,297名)

株主の状況 (2013年12月31日現在)



上場株式等の配当等に関する「源泉徴収税率」のご案内

証券税制における軽減税率の適用終了に伴い、2014年1月1日以降に支払われる上場株式等の配当等には、原則として20% (所得税15%、住民税5%)の源泉徴収税率が適用されます。また、復興財源確保法(略称)により、2037年12月31日まで、復興特別所得税として所得税額×2.1%が追加課税されます。

	2013年1月1日から2013年12月31日まで	2014年1月1日から2037年12月31日まで
所得税	7%	15%
復興特別所得税	0.147%	0.315%
住民税	3%	5%
合計	10.147%	20.315%

- 源泉徴収が行われる場合の税率です。ただし、内国法人の場合は住民税が徴収されません。
- 本ご案内は、上場株式等の配当等に係る源泉徴収税率について、一般的な情報をご提供するものであり、本ご案内の内容が当てはまらない場合もございます。詳細につきましては、最寄の税務署、税理士等にお問合せください。
- 本ご案内は2013年12月時点の情報をもとに作成しています。